

文部科学省 国際教育協力懇談会 最終報告について

協力ネットワーク開発研究領域 武田 穰

この懇談会は、文部科学大臣の私的懇談会として、平成13年10月に設置されたものであり、7月に最終報告が出された。平成12年に開催された前回の「国際教育協力懇談会」における検討結果を踏まえつつ、その後の新たな課題に対応し、更に議論を深めることを目的としたものである。本センターからもオブザーバーという形ですべての会合に出席した。国際教育協力に関心を持たれている皆様のために、最終報告書の内容について簡単に要約する。

懇談会においては、平成13年度では第1部として、急務の課題である、「万人のための教育」を実現するための「ダカール行動枠組み」への対応を、また平成14年度には、第2部として、我が国の大学の知的な資源に着眼し、大学による国際開発協力の促進の在り方について議論された。最終報告書では、その主要な議論を取りまとめて、我が国による協力の質的な転換を図るため、国内体制の抜本的な整備に関して提言を行ったことが最大の特徴である。なお、この報告書は http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kokusai/002/shiryou/020801c.htm で公表されている。

この報告書の基本的な考え方としては、1、国際教育協力、とりわけ、初等中等教育分野の協力重視は、世界的な潮流となっていること、2、国際教育協力は、我が国のあらゆる層の国民が参画可能な協力分野であり、我が国の「内なる国際化」を促すとともに、開発途上国と我が国の国民の共生を深めていくという意義も大きいこと、3、我が国の教育経験を、現職教員の派遣などを通じて活用することにより、「万人のための教育」の達成のために、「日本人の心」が見える協力を実現することが重要であること、4、我が国の大学による国際開発協力への貢献を更に拡大するためには、大学組織としての協力に転換することが不可欠であることが挙げられている。特に、第4項は本センターの業務目的とも密接に関係しているもので

ある。

国内体制の整備に関しては、次のような具体的提言がなされている。

(1) 初等中等教育分野等の協力強化のための「拠点システム」構築

初等中等教育等の分野において、我が国の主力となる協力分野（理数科教育、研修制度、学校運営等）について、中核となる大学のもと、他の大学やNGO等が、我が国の国際教育協力における経験の共有化を図り、協力モデルの開発や現職教員への伝達を行うための「拠点システム」を構築する。

(2) 大学における国際開発協力を促進するためのサポートセンター設立

我が国の大学と国際援助機関との間、あるいはコンサルタント企業・国内外の大学などの連携機関との間の結節点となり、両者の関係強化を図る「サポート・センター」の設置が必要であると提言する。また、分野ごとの国際開発協力戦略の形成については、既に国立大学に設置されている分野別のセンターとの密接な連携が必要である。

(3) 国際開発戦略センターの設立

大学には、国内外の動向を的確に捉えた上でODA政策を客観的に研究するという役割も期待されている。こうした期待に応えるため、我が国の大学にODA戦略に関する研究・分析を担う独立した「国際開発戦略研究センター（仮称）」を設置することを検討すべきである。

この他、紛争解決後の国づくりにおける国際教育協力（アフガニスタン）、国民参画型の国際教育協力の展開（NGO・地方自治体等との連携）、国際機関との連携を通じた我が国の教育経験の活用等が具体的に検討された。

国際開発戦略センター及び、サポートセンターに関しては、平成15年度概算要求案に盛り込まれている。また、この最終報告を受けて、全国6地域でシンポジウムが開催される予定である。名古屋においては、名古屋大学と文部科学省の共催で、12月12日に開催される。内容等はまだ確定していないが、参加ご希望の方は本センターまでご一報されたい。

ICCAE 2002年度オープンセミナー開催

1. 村松吉明（トヨタ自動車（株）常勤監査役）
「私のタイトヨタ時代—経済危機後の対応」…………… 5月24日（金） 15：30－17：30
2. 山口富子（ミシガン州立大学社会学部）
「インドにおける遺伝子組換え作物の受容」…………… 7月1日（月） 16：00－18：00
3. J.M.Owen（メルボルン大学事業評価センター長）
「大学における組織の改革・革新と評価の活用」…………… 7月18日（木） 15：30－17：30
3. 佐藤 哲（WWFジャパン）
「マラウイ湖の事例に見る持続的資源利用のための基礎研究のあり方」… 7月23日（火） 15：00－17：00
5. T.J.Msogoya（ソコイネ大学農学部、本センター客員教授）
「農業分野における南南国際協力の分析視点」…………… 7月24日（水） 15：30－17：30
6. G.Nasinyama（マケレレ大学獣医学部、本センター客員教授）
「ウガンダにおける貧困緩和のためのマケレレ大学の役割」…………… 9月11日（水） 15：30－17：30
7. 山本禎紀（広島大学名誉教授、前JICA長期専門家）〔予定〕
「JICAのAICADプロジェクトに参加し、考えさせられたこと」…………… 10月17日（木） 16：00－18：00